

埼玉医科大学総合医療センター小児科新生児部門

フェローシップ・プログラム

近年、日本小児科学会において、小児科のアカデミックな分野の衰退（論文数減少等）が危惧されており、早急な対応が学術集会シンポジウムにおいても活発に議論されています。

本プログラムは、後期研修終了相当の若手医師を対象としています。新生児専門医資格の取得や、新生児・周産期領域の physician scientist、アカデミックな分野におけるリーダーを目指す人になるために、埼玉医科大学総合医療センター小児科新生児部門が提供するプログラムです。

本プログラムは、埼玉医科大学総合医療センター小児科の豊富な臨床・研究・教育リソースを利用することができ、国内最大規模を誇る NICU で臨床経験を積み、フェローひとりひとりの興味に沿った研究課題が与えられます。研究内容は最新の基礎研究からトランスレーショナル・リサーチ、臨床・疫学研究まで幅広く準備され、若手医師のために経験のあるスタッフが指導します。本プログラム修了後に留学することも可能です。

カリキュラム

	臨床	研究
1 年目	NICU、当直、外勤	課題・指導者の選定、助成金申請等
2 年目	NICU、当直、外勤	助成金申請、研究準備
3 年目	当直、外勤のみ	研究
4 年目以降	指導者・教授との相談の上、決定（臨床、大学院、留学等）	

紹介可能な留学先：

Brown University (Phyllis A. Denney)、University of Colorado (Clyde Wright)
Harvard Medical School (Ken Arai)

プログラム担当

加部一彦 MD, MMA

埼玉医科大学総合医療センター小児科教授・教育副主任

モハメド ハメド フセイン MD, PhD

埼玉医科大学総合医療センター小児科特任講師

難波文彦 MD, PhD

埼玉医科大学総合医療センター小児科講師・研究副主任（連絡先：nambaf@saitama-med.ac.jp）